

令和4年度 第11回 市長定例記者会見

定例会見

日時：令和5年1月6日（金） 11：30～

会見内容

1. 発表事項

- “岐阜市センターゾーン”柳ヶ瀬エリアについて
柳ヶ瀬グラスル35の完成と金公園のリニューアル

(1) 新たなランドマーク「柳ヶ瀬グラスル35」

都市建設部 市街地再開発課
保健衛生部 健康増進課
子ども未来部 子ども政策課

(2) セントラルパーク「金公園」

都市建設部 公園整備課

1 柳ヶ瀬グラスル35の完成と金公園のリニューアル

○柳ヶ瀬に2つの新たな拠点が誕生

- ・「岐阜が動き出す」ことを象徴する
柳ヶ瀬の新たなランドマークとなる「柳ヶ瀬グラスル35」と
セントラルパーク「金公園」のリニューアルがいよいよ完成
- ・この新たな2つの拠点の誕生により、
さらなる人の流れと賑わいが生まれ、柳ヶ瀬の魅力と価値が高まり、
「人が集まり、暮らし、つながるまち」へと進化
- ・柳ヶ瀬の新たな幕開けといえる柳ヶ瀬グラスル35と金公園の
完成式典を3月4日（土）、
完成記念イベントを4日（土）5日（日）に開催



写真 柳ヶ瀬グラスル35と金公園（令和5年1月撮影）

(1) 新たなランドマーク「柳ヶ瀬グラスル35」

○施設の概要

高さ132m、35階建ての超高層再開発ビル

- 1、2階 商業施設
- 3、4階 公共施設
- 5～35階 分譲マンション
- 1階には広場空間「Gテラス」



写真 柳ヶ瀬グラスル35 (令和5年1月撮影)

○健康運動施設「ウゴクテ」、子育て支援施設「ツナグテ」、 中保健センター

- ・3階の健康運動施設「ウゴクテ」は、
「動く習慣で、伸ばそう健康寿命」をコンセプトとして、
健康づくりの「きっかけ」の場所を提供することで、
市民の皆様の健康意識を高め、身体活動・運動の習慣づくりを支援する施設

□開館時間	平日・土曜日：9時～21時、日曜日・祝日：9時～17時（交流エリアは9時～21時）
□休館日	木曜日（交流エリアは毎月最終木曜日のみ）（木曜日が祝日の場合は直後の平日）、 年末年始
□使用料	トレーニングルーム 一般（中学生以上）：1回利用券250円、回数券（11回分）2,500円 障がい者、難病患者：1回利用券130円、回数券（11回分）1,300円

- ・健康運動施設「ウゴクテ」に愛着を持っていただけるよう、
その魅力やイメージを広く周知するために、**ロゴマークも作成**



幅広い年齢の方が、
楽しく、アクティブに「動く」様子を表現

・ 4階の子育て支援施設「ツナグテ」

「あそび場はまなび場」をコンセプトとして、
遊びを通じて子どもの生きる力を育み、子育て家庭を支援する施設

□開館時間	10時～18時
□休館日	毎月最終木曜日（木曜日が祝日の場合は直後の平日）、年末年始
□使用料	きッズエリア : 子ども（小学生以下）無料、引率者（満18歳以上）500円/日 ※引率者の同伴が必須（子どもだけの利用は不可）
	あずかる一む（一時預かり）：平日 700円/時間・人、日曜日・祝日 800円/時間・人
	まなべる一む（研修室）：700円/時間
	そうだしつ：無料

- ・ 子育て支援施設「ツナグテ」についても、**ロゴマークも作成**
愛称と同じく、健康運動施設「ウゴクテ」と一体感のあるデザイン



親と子、人と人とのつながりを
大切にしていく様子を表現

- ・ 2つの施設にあわせて、
乳幼児健診、健康相談などを行う**中保健センター**を、
現在の都通から3階に**移転**
- ・ 「ウゴクテ」と「ツナグテ」は、**令和5年4月30日（日）にオープン**
- ・ **中保健センターは、5月8日（月）に移転**

(2) セントラルパーク「金公園」

○再整備の概要

- ・金公園は、センターゾーンの「駅周辺エリア」と「柳ヶ瀬エリア」の間に位置
人の流れの重要な結節点であることから、
「まちとまちをつなぎ、多くの市民が憩い、うるおう空間へ」をコンセプトに、
賑わいあふれるオープンスペースへと再整備
 - ・メインとなる「芝生広場」は、テニスコート約10面分の広さ
 - ・緩やかな傾斜を有した芝生の両側には、
普段は「遊んだりくつろげる空間」として、
イベント開催時にはステージなどの「にぎわいの空間」として利用できる
「小高い空間」を設置
 - ・園内各所には、公園を「訪れる人」や「使う人」に配慮した工夫を施している
 - ・照明柱：タープやフラッグの取付けが可能
柱の下部には電源コンセントを設置
 - ・園路：テントを固定することができる金具
調理や洗い物ができるシンクを設置
- ⇒音楽イベントやマルシェなど様々なイベントに対応



□公園概要

公園種別：近隣公園
開設年月：昭和24年4月
開設面積：約1ヘクタール
・北エリア：約0.2ヘクタール
・南エリア：約0.8ヘクタール
芝生広場面積：約2,000㎡(天然芝部)



図 芝生広場と小高い空間のイメージ図

○子どもが楽しむ仕掛けづくり

- ・南エリアには、小高い空間を利用した
幅約20m、高さは最大で1.5mの「斜面すべり」を整備

・利用状況に応じて**移動可能な2つの遊具**を配置

① 「**プレイキューブ**」という、**国内初**となる遊具

・様々な方向から出入りできる

幾何学的な形状のブロックが組み合わさった

かつての**ジャングルジムを連想させる遊具**

・登ったり、くぐったり、かくれんぼをしたりなど

いろいろな遊びをすることができる

② 大小様々なブロックを組み合わせて遊ぶ「**モップス**」という遊具

・**ブロックを自由に組立て、動かす**ことで

子どもたちが**新たな遊びを発明**し創造性を育む

□移動式遊具①：プレイキューブ

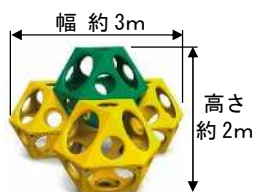
概要：キューブ状の遊具

規模：高さ：約2m

幅：約3m

対象年齢：6～12才

※日常設置、
イベント時撤去可



プレイキューブのイメージ

□移動式遊具②：モップス

概要：組立て式遊具
(人力組立)

対象年齢：3～6才

※休日、イベント時に設置



モップスのイメージ

○既存施設のリニューアル

・北エリアにある金公園のシンボルである「**からくり時計**」をお色直し
完成式典の際にお披露目

□からくり時計

設置経緯：市制100周年の際にご寄附をいただいたもの

設置年月：昭和63年7月

からくり人形：5体

(当時の姉妹都市(フィレンツェ市、杭州市、カンピーナス市、
シンシナティ市)と岐阜市をイメージした衣装をまとった人形)

※加藤登紀子さんが作詞作曲した

「蒼い流れに」の曲に合わせ、人形が踊りだす